

交流センターだより



No.190
令和7年
1月号

おおとし

大歳地域交流センター
公式X(Twitter)アカウント

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 13,985 世帯数 7,003
開館時間 8時30分~17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) 令和6年12月1日現在

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、大歳地域交流センター主催講座をはじめ、各種事業や行事等にご協力を賜り、誠にありがとうございました。

お陰様で、充実した事業活動を行うことができました。

本年も、昨年より増して、地域の皆様により親しまれ、愛される地域交流センターを目指し、職員一同さらに努力して参ります。これまで以上に皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大歳地域交流センター 職員一同



鴻南地域包括支援センターからのお知らせ

山口市鴻南地域包括支援センターは、大歳・吉敷・平川地区の高齢者やご家族、地域の皆さんの身近な総合相談窓口として開設し、今年で13年がたちました。

保健・医療・福祉・介護の専門職である、主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士が支援を行います。生活支援コーディネーターやふくまる相談員もいます。

どこに相談をしていいか・・・と悩まれた時はご連絡ください。

本年もよろしく
お願いします



問い合わせ先：山口市鴻南地域包括支援センター
☎ 083-934-3333

太陽クラブからのお知らせ

2月の節分にちなんで、巻き寿司を作ります。大歳地区食生活改善推進協議会の皆さんが巻き寿司のコツを教えてくださいます。自分で作った巻き寿司はお土産です。巻き寿司作りの後には鬼がやってくるかも。お楽しみに☆

【日時】令和7年1月29日(水)

10時00分~

要申込

【内容】恵方巻き作り&豆まき

【場所】大歳地域交流センター 和室

【参加費】1家族100円

【持ち物】エプロン、三角巾、まきす(持っている方)、飲み物

【募集人数】未就園児の親子10組程度

【申込先】水原(090-4897-5649)

【申込締切】令和7年1月22日(水)



大歳体育振興会からのお知らせ 大歳小学校地域参観日のご案内

毎年恒例となります地区体育祭開催につきまして、これまで9時～14時半頃までの全日開催としてまいりましたが、より多くの地域住民が参加しやすくするため、次回より半日開催を検討しております。

半日開催にすることで、体育祭参加者の負担を軽減し、より多くの方々の積極的な参加を促すことが期待できます。しかしながら、これまでの全日開催を支持する声も存在しております。

つきましては、アンケートにより各分館の皆様の意向を伺い、最終決定に反映したいと思います。

アンケート用紙（1月31日提出締切）は分館長さんに送付しておりますので、ご意見をお寄せいただけますようお願い申し上げます。



【大歳体育振興会】

事務局（大歳地域交流センター内）

TEL：083-922-4035

大歳小学校は地域とともにある学校を目指したコミュニティースクールです。

本年度も本校の教育活動を地域の皆様にも積極的に公開したいと考えています。

ご多用のこととは存じますが、ご都合のつかれる時間帯に遠慮なくご来校いただき、ご参観くださいますようお願い申し上げます。

日時 令和7年1月31日（金）
13時00分～14時45分
日程 13時00分～13時40分 昼休み
13時40分～13時55分 掃除
14時00分～14時45分 授業参観

その他

- （1）玄関で受付を済ませて校舎内にお入りください。
- （2）校内及び学校周辺の施設（交流センターなど）には、駐車場はありません。お車をご利用の際には、県立山口総合支援学校入口横の維新公園第11駐車場（12時00分～17時00分）をご利用ください。
- （3）上履きは、各自ご持参ください。

SDGs竹 竹細工教室 ～受講生募集～

家の周りの竹で生活に必要な物を作ませんか！

【活動日】

第2・4火曜日 13時30分～15時30分
または

第2・4土曜日 13時30分～15時30分

【活動場所】

交流列車おとし（JR山口線 大歳駅 駅舎内）

【問い合わせ・申し込み】

田中 勉 Tel 090-7595-1560



竹の割り方・ヒゴ作りから
ていねいに指導します。
完成した作品は、生活の中で役立ちます。
作品ができると楽しいですよ！

山口市シルバー人材センター剪定班からのお知らせ

庭木の剪定要員募集

高齢化に伴い庭木の剪定依頼が増加していますが、剪定要員の加入が少なく、需要に応えきれない状況です。

夏の暑さ、冬の寒さ、毛虫、脚立の転倒リスクなど大変な面もありますが、剪定後にお客様から感謝されるなど、やりがいのある仕事です。脚立、ヘッジトリマー（バリカン）、軽トラなどの各種設備が必要ですが、初心者には、4尺の脚立とヘッジトリマー等軽微な道具だけを乗用車に積んで仕事をしている方もおられます。

60歳以上の方で、ある程度自由な時間があり、時々でもやってみようと思われる方は、まずは、シルバー人材センター事務局（083-924-5396 担当：松永）までご連絡ください。

ご自身で自宅の庭木の剪定をしておられる方は、より馴染みやすいと思います。

地区モルック大会を開催しました！

地区ソフトバレーボール大会を開催しました！

11月10日(日)大歳小学校体育館にて第1回モルック大会を実施しました。10チームの参加があり、大いに盛り上がりました。来年度も継続して大会を開催したいと考えています。

11月24日(日)大歳小学校体育館にて開催しましたソフトバレーボール大会の結果を報告します。



- 【A級トーナメント】
- 優勝 岩富A
- 準優勝 下矢原A
- 3位 岩富C、中矢原A
- 【B級トーナメント】
- 優勝 岩富B



優勝：岩富のみなさん



大会の様子

「みんなのひろば」からのお知らせ

カローリングクラブからのお誘い

【日時】令和7年1月18日(土) **申込不要**

13時30分～15時30分

【場所】大歳地域交流センター 講堂

【内容】

- ①大人も子どもも正月あそび(折り紙・トランプ・カルタ・あやとり・お手玉)

②おぜんざいでお接待

【参加費】100円

【連絡先】大窪(080-2904-8193)



「カローリング」は簡単なルールと使いやすい用具で特別な技も力もいりません。誰もが気軽に楽しめるスポーツです。まずは一度参加してみませんか？

申込不要

- 【開催日】毎月第1・3土曜日
- 【時間】午前9時00分～11時00分
- 【対象者】子どもから大人までどなたでも
- 【場所】大歳地域交流センター 講堂
- 【持参物】軽い運動のできる服装・飲み物
- 【参加費】無料
- 【連絡先】カローリングクラブ・中原(080-6303-4574)



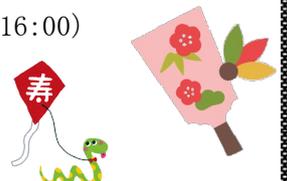
【大歳地区1月の行事予定】

- 6日(月) 燃やせないごみの日
- 7日(火) 七草がゆ試食会(11:00～13:00)
- 13日(月) どんど焼き(10:00～14:00)
- 17日(金) 金属・小型家電製品の日
- パソコン相談(受付 10:00～10:30)
- ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 18日(土) みんなのひろば(13:30～15:30)
- 22日(水) びん・缶の日



- 27日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
- 29日(水) 子育てサークル太陽クラブ(10:00～)
- 30日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
- 31日(金) 大歳小学校地域参観日(13:00～14:45)
- ぶっくん来館日(15:20～16:00)

※木曜日はプラ容器包装分別収集



小郡遙拝所の建立 その3 遙拝所の建立

遙拝所建立の誘致合戦

遙拝所建立の動きは、文久3（1863）年10月の小郡宰判の台道村に続き、下郷村におきます。両村はそれぞれの地に遙拝所建立の要望書を小郡代官所に提出します。山口大神宮まで行くことができなくなった参拝者のために、関門外の山陽道の地に、大神宮を遙拝する社殿を建立しようとしたのです。また、下郷村の要望書には「隣郡である山口・宮市の繁栄は、山口には大神宮、宮市には天満宮があるからで・・・」と、台道村の要望書には「通過により宿舎・草履の需要がおおきくなる」とかかれています。山陽道沿いにある台道村と下郷村は、大神宮遙拝所の参拝者が多く見込まれ、それを引き受けることで、村の経済の活性化が期待できると考え、其々の利点を訴え、誘致合戦を繰り広げていきます。台道村は、下郷村に先駆け、早くから遙拝所建立の要望書を代官所にだしていましたが、最終的に寺社奉行は、両村の要望を取り入れ、台道村に内宮、下郷村に外宮を許可し、内宮・外宮の遙拝所は元治元（1864）年の中頃に建立されます。両村の要望は叶い、遙拝所は建立され参拝者の便宜を図ることができ、村の経済の発展も期待できました。

今も残る小郡遙拝所

しかし、翌年の慶応元（1865）年1月に太田・絵堂の戦いが起こり、内訌戦に勝利した革新派はその後、四境を攻撃してきた幕府軍を相手に戦い（第2次幕長戦争）に勝利します。そして、歴史は倒幕へ向かい、2年後の1868年9月に明治維新（明治に改元）を迎えることとなります。柳井田関門が取り除かれたのは、明治2～3年（1869～1870年）に起きた脱退騒動^{（註1）}以後で、築堤もしだいにとりこわされていきます。したがって、台道村や下郷村の人々の努力によって出来た山口大神宮遙拝所が機能し、参拝者の便宜を図り、両村の経済が潤ったのは、わずかな年数と思われる。現在、台道の遙拝所（内宮）は残っていませんが^{（註2）}、小郡の遙拝所（外宮）は本殿・中門・神門ものこっています。下郷村は遙拝所建立にあたって多くの人は資金をだし、明治維新以降も小郡の山手の人々の浄財によって、保存・修理されてきたといわれます。昭和54年の「小郡町史」によると、「祭日、5月1日。祭日には、花角力や農機具の露店でにぎわいをみせたが、近年消滅した。」とあります。幕末、石州街道が封鎖されることで創建された小郡遙拝所は、小郡町時代の平成5（1993）年の3月に「指定文化財」になっており、合併後（平成17年10月）の今は、山口市の「指定文化財」になっています。（註1）明治2～3（1869～1870）年におきた倒幕に活躍した諸隊の整理・解散に対する反乱。

（註2）遙拝所の灯籠は今から10年前までは長沢池より南側の台道（現在防府市）の国道2号線のそばにあった。参考資料「山口県神道史研究 山口大神宮台道・小郡遙拝所の建立」広田暢久「小郡町史」（昭和54年 発行）（文責：大歳史談会 白上茂樹）



小郡下郷山手下にある小郡遙拝所

